



## 安全データシート

Page 1 of 7

LOCTITE ABLESTIK 2116-R known as TRA-BOND 2116-R

SDS No. : 376843  
v001.1

改訂: 05. 10. 2015

発行日: 21. 04. 2020

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1446080  
製品名 : LOCTITE ABLESTIK 2116-R known as TRA-BOND 2116-R

#### 会社名 :

ヘンケルジャパン株式会社  
東京都品川区東品川2-2-8  
スフィアタワー天王洲 14F  
140-0002  
電話番号 : +81 (45) 758-1820  
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類 :

<u>危険有害性クラス</u>	<u>危険有害性区分</u>
皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性(長期間)	区分 2

#### GHSラベル要素:

##### 絵表示:



##### 注意喚起語:

警告

<b>危険有害性情報:</b>	H315 皮膚刺激 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H319 強い眼刺激 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
<b>安全対策</b>	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 眼保護具/顔面保護具を着用すること。 P280 防護手袋を着用する。
<b>応急措置:</b>	P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P391 漏出物を回収すること。
<b>廃棄:</b>	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

### 3. 組成、成分情報

#### 危険有害成分及び濃度

成分	wt%
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂	>= 80 - < 90 %
シリカ	1 - 10 %
ガラス	1 - 10 %

### 4. 応急処置

<b>皮膚にかかった場合:</b>	流水とせっけんでよく洗い流すこと。 もし刺激が続くならば治療を受けてください。
<b>眼に入った場合:</b>	直ちに流水で10分以上洗い、医師の診察を受けること。
<b>飲み込んだ場合:</b>	口をすすぎ、コップに1~2杯の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。

**吸入した場合 :** 製品が低揮発性なので、特に問題ではない。しかしながら、もし気分が悪い場合は空気の新鮮な場所へ移動すること。

## 5. 火災時の措置

**消火剤 :** 水、二酸化炭素、泡、粉末

**使ってはならない消火剤 :** 高圧水噴射

**保護具 :** 自給式呼吸器および出勤服の様な全身保護服を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項 :** 皮膚や眼に触れないようにすること。  
保護具を着用すること。  
十分な換気を保つこと。  
着火源を取り除くこと。

**環境に対する注意事項 :** 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

**除去方法 :** 少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。  
大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い :** 皮膚および眼への接触を避けること。  
8項目の注意を参照すること。

**保管 :** しっかりした換気／排気を確保すること。  
容器をしっかり密封しておくこと。  
室温で保存すること。  
技術資料を参照すること

## 8. 暴露防止及び保護措置

**設備対策:** しっかりした換気／排気を確保すること。

**保護具:**

- 呼吸用保護具:** 十分な換気を保つこと。  
換気状態の悪い場所でこの製品を扱う場合は認可された呼吸マスクや有機蒸気カートリッジ付呼吸保護具を使う。
- 眼の保護具:** 飛沫の危険がある場合はサイドシールド付きの安全眼鏡もしくは化学的  
安全ゴーグルを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具:** 適切な保護服を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	黄
臭い:	僅か
pH:	該当なし
融点/凝固点:	未測定データ無し
沸点:	> 176 ° C (> 348.8 ° F)
引火点:	> 248 ° C (> 478.4 ° F)
自然発火温度:	データ無し
蒸気圧:	< 133.3 Pa
蒸気密度:	データ無し
比重:	1.2
n-オクタノール/水分配係数:	データ無し

## 10. 安定性及び反応性

**安定性 :**

**化学的反応性 :** アルコール及びアミンと反応する。  
酸化剤、酸及びアルカリと反応する。  
いくつかの硬化剤による大量の反応は急激な発熱を伴う暴走反応を起こす恐れがある。

**混触危険物質 :** 適切に使用した場合特になし。

**化学的安定性 :** 推奨保存状態下では安定している。

**避けるべき条件 :** 指導致通りに保存、適用されれば分解はしない。

**危険有害な分解生成物 :** 炭化水素  
炭素酸化物  
酸化窒素  
急速な重合は過度の熱および圧力を発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A		
	皮膚感受性	区分1		
シリカ	分類の必要なし			
ガラス	分類の必要なし			

**一般毒性情報 :** 動物実験検査データなし。

## 12. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂	水生環境有害性(長期間)	区分2

**一般環境有害性情報 :** 下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

### 13. 廃棄上の注意

- 推奨廃棄方法:** 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。
- 汚染容器包装の廃棄方法:** 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。  
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

### 14. 輸送上の注意

#### Marine transport IMDG:

Class: 9  
Packing group: III  
UN no. : 3082  
Label: 9  
EmS: F-A,S-F  
Seawater pollutant: P  
Proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Epoxy resin)

#### Air transport IATA:

Class: 9  
Packing group: III  
Packing instructions (passenger) 964  
Packing instructions (cargo) 964  
UN no. : 3082  
Label: 9  
Proper shipping name: Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (Epoxy resin)

### 15. 適用法令

- 労安法:**  
名称等を通知すべき有害物 シリカ  
変異原性が認められた既存化学物質 ビスフェノール A 型エポキシ樹脂
- 消防法** 第4類引火性液体, 第四石油類
- 毒劇物法:** 該当しない
- PRTR 法:** 該当しない

### 16. その他の情報

発行日: 21.04.2020

**問い合わせ先:**

**注意:**

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含まいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び  
規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-  
1771